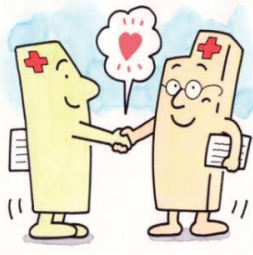


第226号

連携室だより



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院

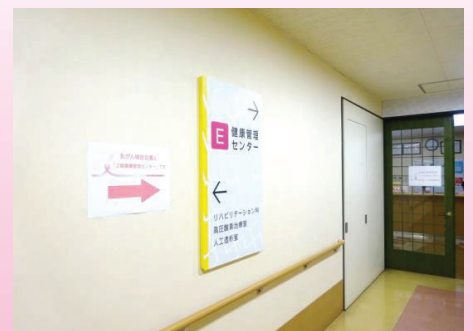
帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



今号の内容

- ・ Pink Ribbon Campaign 2024 開催報告 健康管理センター 保健師 栗田 満美 (2)
- ・ 東北大学消化器内科正宗教授カンファレンス開催報告 消化器内科 部長 消化器内視鏡センター長 鈴木 郁
認知症看護認定看護師のご紹介 認知症看護認定看護師 大和谷 奈都美 (3)
- ・ 感染管理認定看護師の取り組みについて 感染管理認定看護師 中村 裕子
フードバレーとかちマラソンで総合3位に入賞しました 臨床研修医 三宅 陸斗 (4)

Pink Ribbon Campaign 2024 開催報告

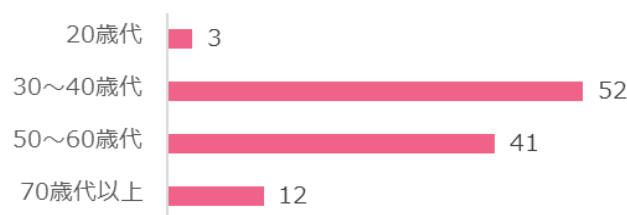
健康管理センター 保健師 栗田 満美



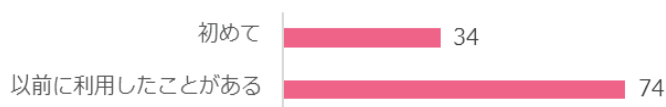
今年度のピンクリボンキャンペーン期間の10月は、約150名（延べ人数）の方々に、特別料金での乳がん検診（マンモグラフィ検査・乳腺超音波検査）を受けて頂きました。毎年、受診された方々へアンケート実施のご協力をお願いしておりますが、今年度もキャンペーン内容に満足をしていただいたお声を多く聞かせていただきました。乳がん検診を受診された方々は、20歳～70歳代と幅広く、多くの方が乳がんへの関心を持っていると感じました。これからも地域の皆様の健康維持・増進に貢献できるよう、ピンクリボンキャンペーンの充実に取り組んでいきたいと思っております。

Pink Ribbon Campaign 2024 アンケート結果

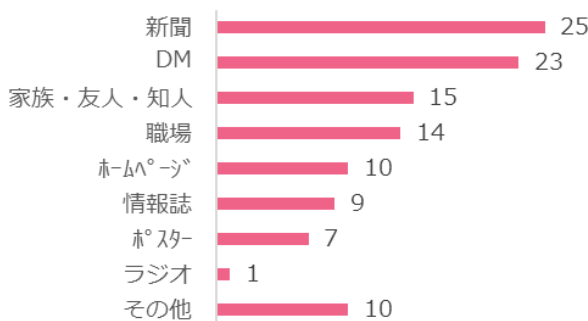
1. 受診者の年齢。



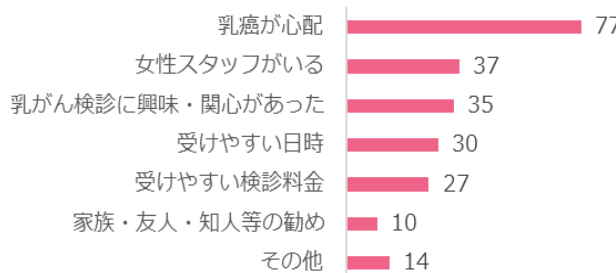
2. ピンクリボンキャンペーン利用は初めてですか。



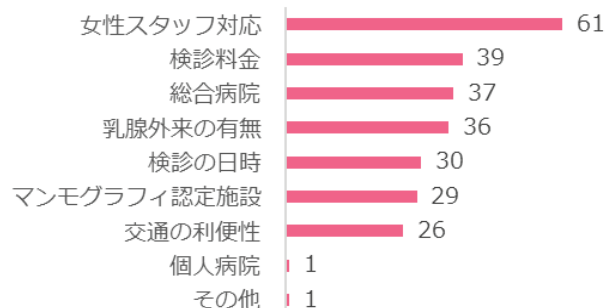
3. 今回のピンクリボンキャンペーンは何で知りましたか。



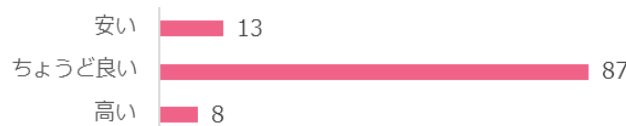
4. 利用されたきっかけを教えてください。



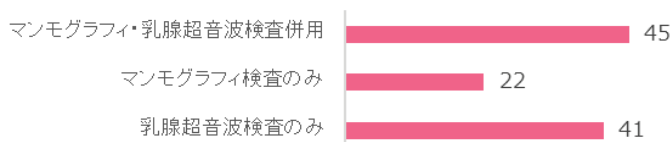
5. 乳がん検診を受ける際に考慮する内容は何かですか。



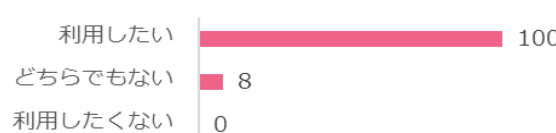
6. ピンクリボンキャンペーンの特別料金についてはいかがでしたか。



7. 今回受けた検査内容は何ですか。



8. 来年ピンクリボンキャンペーンを実施する際に利用したいと思いますか。



東北大学消化器内科正宗教授カンファレンス開催報告

消化器内科 部長 消化器内視鏡センター長 鈴木 郁



去る2024年10月21日、東北大学病院消化器内科の教授であります正宗淳先生が来帯され、当院へ来院されました。私を含め、当科では複数の医師が正宗教授の御高配により当院へ赴任させて頂いております。正宗教授は膵臓疾患を御専門とされ、特に早期慢性膵炎の領域において全国的にも非常に高名であることから、当科へ現在通院されている患者さまのうち、特に膵臓疾患で今後の治療方針に議論の余地がある方々を中心に約1時間のカンファレンスを行い、大変貴重な御意見の数々を賜りました。その後は個別に面談も行って頂き、数々の有難い激励のお言葉も頂きました。それらを胸に、今後も十勝医療圏の消化器疾患の診療に携わる者として地域の皆様に少しでも貢献していけるよう、全身全霊をかけて邁進していく所存です。引き続きの御指導御鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



当院消化器内科について

当院では現在、常勤・非常勤及び研修医を合わせまして常時7名が在籍しております。消化器疾患は上部消化管領域、下部消化管領域、肝臓領域、胆膵領域等多岐にわたりますが、その中で各自スペシャリティを持ちつつ、多様な消化器疾患について日々診療に取り組ませて頂いております。地域の皆様及び医療機関の先生方におかれましては、腹痛や下痢といった消化器疾患を示唆する症状を認める場合や、採血上貧血や黄疸、腫瘍マーカー上昇を認める場合など、それ以外にも何か気になる症状がございましたら、適宜当科へ御相談のうえ御来院・御紹介を賜れますと幸いです。今後とも十勝医療圏の消化器疾患治療に貢献できるよう、全身全霊で臨む所存ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。

認知症看護認定看護師の取り組みについて

認知症看護認定看護師 大和谷 奈都美



十勝の医療機関の皆様にはいつもお世話になっております。認知症看護認定看護師（Dementia Nursing in Certified Nurse : DCN）の大和谷です。

DCNは認知症の人の意思尊重や権利擁護、認知症各期に応じたケアの実践や体制づくりとご家族への支援、認知症の人が安心して過ごす生活・療養環境の調整など、認知症の人の生命、生活の質、尊厳を尊重したケアを、看護職や他職種と協働し提供する事が役割です。

私には忘れられない患者様とご家族がいます。患者様は心不全悪化のため救急搬送となり入院。入院時、「本人が外出を拒み引きこもり、家の中が大変なことに。どうしていいかとても困っていた」と疲労困憊されたご家族の姿がありました。心不全の治療をしつつ、専門医を受診し認知症の診断も受け、生活環境の再構築含め退院支援をさせて頂きましたが、この出会いがDCNを志すきっかけとなりました。

認知症を抱えつつ地域で生活される方が増える今、地域医療を支える皆様の施設に受診される方も多いかと思います。皆様からご紹介いただいた患者様に認知症があっても、安心して治療・療養して頂き、また地域へ戻ることができるために、今後ともDCNとして尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

もし皆様の施設で、認知症の方へのコミュニケーションやケア方法など、現場でお困りのことはございませんか。微力ですがDCNとしてお役に立てる事があるかもしれません。どうぞ遠慮なくご相談いただければと思います。ご連絡お待ちしております。



感染管理認定看護師の取り組みについて

感染管理認定看護師 中村 裕子



昨年9月より感染管理専従で業務を行っております。感染管理認定看護師は「患者様やその家族、職員を感染から守る」ことを目的として、専門的な知識や技術を駆使し・医療関連感染の監視・感染予防対策・職業感染対策・職員への感染対策指導・教育等々果たすべき役割は多岐に渡ります。私自身、院内での感染症発生状況の把握やそれに付加する院内ラウンド、感染対策に関する相談やそれに対する提案・助言、マニュアル作成等を行っています。

職員への感染対策の指導・教育の部分では、年2回、全職員対象の研修会を開催していますが、今回は8月に当院で発覚、治療となった「結核」の事例に関連して、十勝の杜病院 病院長の山本真先生をお招きして診断のポイントや対応等を講義していただきました。「結核」は2類感染症に分類され、原則専門の医療機関での入院・治療となるため、当院で対応する事は多くはありません。そのため研修会後のアンケートでは「難しかった」との

意見もありましたが、「対応や届け出等知ることが出来た」「今後に活かしたい」等前向きな意見も多く聞かれ、感染対策向上加算1を掲げている医療機関として、全職員が多くの知識を得るための良い機会になったと感じています。



フードバレーとかちマラソンで総合3位に入賞しました

臨床研修医 三宅 陸斗

十勝管内の皆様には平素より大変お世話になっております。帯広第一病院臨床研修医2年目の三宅陸斗と申します。

10月27日（日）に開催されました「フードバレーとかちマラソン」に参加し、総合3位に入賞しました。今年も残念ながらとかち晴れとはならず、寒い中ではありましたが沿道の皆様の応援のおかげで、去年よりも速いタイムで完走できたことを非常に嬉しく思います。一方、去年から総合順位を上げることができなかったこと、十勝管内参加者で1位になれなかったことは非常に悔しく思います。今シーズンの北海道での大会はこれで最後にはなっていますが、道外でのレースに向けて研鑽していきます。

これからも仕事と陸上競技の両立を目標に励んでまいります。今後とも何卒よろしくご厚意申し上げます。



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)

FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

